

北杜市遺跡発掘 調査支援業務委託

24年度は発掘作業として、白州町堰口遺跡、明野町天王原遺跡、白州町竹宇遺跡、明野町下神取遺跡の4遺跡を北杜市より受託し、現場における作業を無事終了しました。それぞれ平安の遺跡と縄文の遺跡が検出され、遺物も多数回収されました。下神取遺跡に関しては古墳時代及び中世の遺構がありました。

これらの場所による時代の違いも、今後の研究の成果が期待されるところです。

◎縄文中期の「出産土器」が竹宇遺跡より出土しました。太古の女性の「産みの苦しみ」を土器に叩きつけたダイナミックな逸品で、このようなタイプは北杜市（旧北巨摩郡）において30年で3つめの出土品だそうです。復元が待ち遠しいですね！！



◎同じく竹宇遺跡出土の「縄文カップ麺」(笑)、実際このあと掘り進めていくと全長は、はなはだ長く、カップ麺というよりは「縄文の花瓶」というサイズでした。

◎同じく竹宇遺跡出土の「縄文カップ麺」(笑)、実際このあと掘り進めていくと全長は、はなはだ長く、カップ麺というよりは「縄文の花瓶」というサイズでした。

お月見オルゴールライブ開催



昨年9月30日(日)重要文化財八代家住宅において、手回しオルゴールシンガー

白井則孔さんによる「お月見オルゴールライブ」が行われました。当日はあいにくの台風襲来という悪天候の中、それでも40数名の方にお越しいただいて、何とか会を催すことができました。手回しオルゴールに合わせて懐かしい歌の数々を演奏して下さり、時には観客も一緒になって歌うなど、素敵な時間を過ごせたと思います。

第3回伝統芸能研修会

去る10月27日(土)に、今回で3回目を迎える事になりました、明野町民俗芸能保存会によります、伝統芸能研修会を開催しました。

こども神楽教室からは四弓の舞を披露しました。

平成25年度も引き続き明野町民俗芸能保存会の事務局を務める事となります。皆さま、是非ご観覧にいらして下さい。お待ちしております。



＝事務所お引越しのお知らせ＝



昨年来の宿願であった「かやぶん」事務所の転居が、今年 4 月に無事執り行われました。北杜市役所明野支所正面、旧山梨県民信用組合明野支店をお借りすることができました。信組さん撤退後、かなりの年月が流れていたので、内外装とも若干の痛みがあり、それを補修しつつの引っ越し作業となりました。今後、この新事務所を拠点に、さらにいっそうの飛躍をしていきたいところです。

《新住所》

山梨県北杜市明野町上手 5 2 1 7 - 3

《新 TEL/FAX》

0 5 5 1 - 4 5 - 7 6 7 2

＝ニセアカシア＝

明野町天王原遺跡発掘現場、もともと原生林チックで荒れ放題ではあったのですが、その中でひととき目立つのが「ニセアカシア」の木でした。写真を見ていただければ「ああ



これ！」みたいな感じでわかる方も多いと思います。

和名「針槐（ハリエンジュ）」1873年に北米大陸方面から移入された外来種です。全国で緑化資材として用いられましたが、強い生命力ゆえの負の側面（在来種の駆逐など）もあるようです。現場での状況を見ればそれも納得できます。なんせ高木化したものは、20m以上、またそこここに人の背丈くらいのものが藪状にあり、また足元にも発芽直後の「ベビーちゃん」が繁茂、この棘が結構鋭く気をつけなければなりません。

現場で作業しつつこれら「ニセアカシア」を見て、まさに物事は一長一短であるなど考えさせられました。上記の緑化資源やら、ハチミツの「みつ源」として、また薪炭材としてもかなり有益なようです。一方、河川沿いや森林地帯における生物の多様性の低下、景観構造の大きな改変などは見過ごしにできない問題でしょう。

太古の昔より現代 21 世紀に至るまで、我々人間は様々な形で自然に手を加えてきました。そういうものの利害が「よくわかる」この木々の群生であります。

＝会員募集＝

茅ヶ岳歴史文化研究所では、私たちと一緒に活動して下さる方、ご賛同いただける方を募集しています。

こんなことをやってみたい人は、ぜひ！

- 歴史や文化財の研究を通じて知識を深めたい
- 活動を通じて文化財保護や活用に役立ちたい
- イベントを通じてさまざまな人と交流したい

入会金 1,000 円

年会費 2,000 円

かやぶんかわら版 第75号

平成25年5月10日発行

特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所
(かやぶん)

TEL/FAX 0 5 5 1 - 4 5 - 7 6 7 2

ウェブサイト <http://kayabun.web.fc2.com/>

e-mail kayabun@hotmail.co.jp